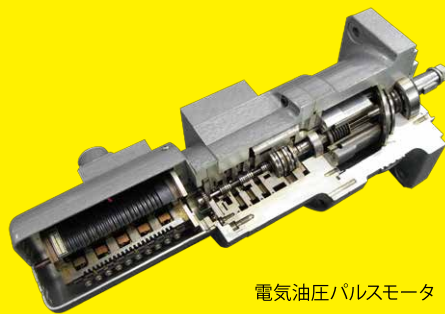


創業者 名誉会長 工学博士 稲葉清右衛門 追悼



電気油圧パルスモータ



創業者
名誉会長 稲葉 清右衛門 1925年3月5日生まれ(享年95歳)
工学博士

2020年10月2日、当社創業者 名誉会長 工学博士 稲葉清右衛門が老衰のため、95歳でこの世を去りました。

技術者としてNC（数値制御装置）や電気・油圧パルスモータを開発し、経営者としてFANUCを発展させたその生涯を、社内資料より一部抜粋してご紹介します。

主要経歴

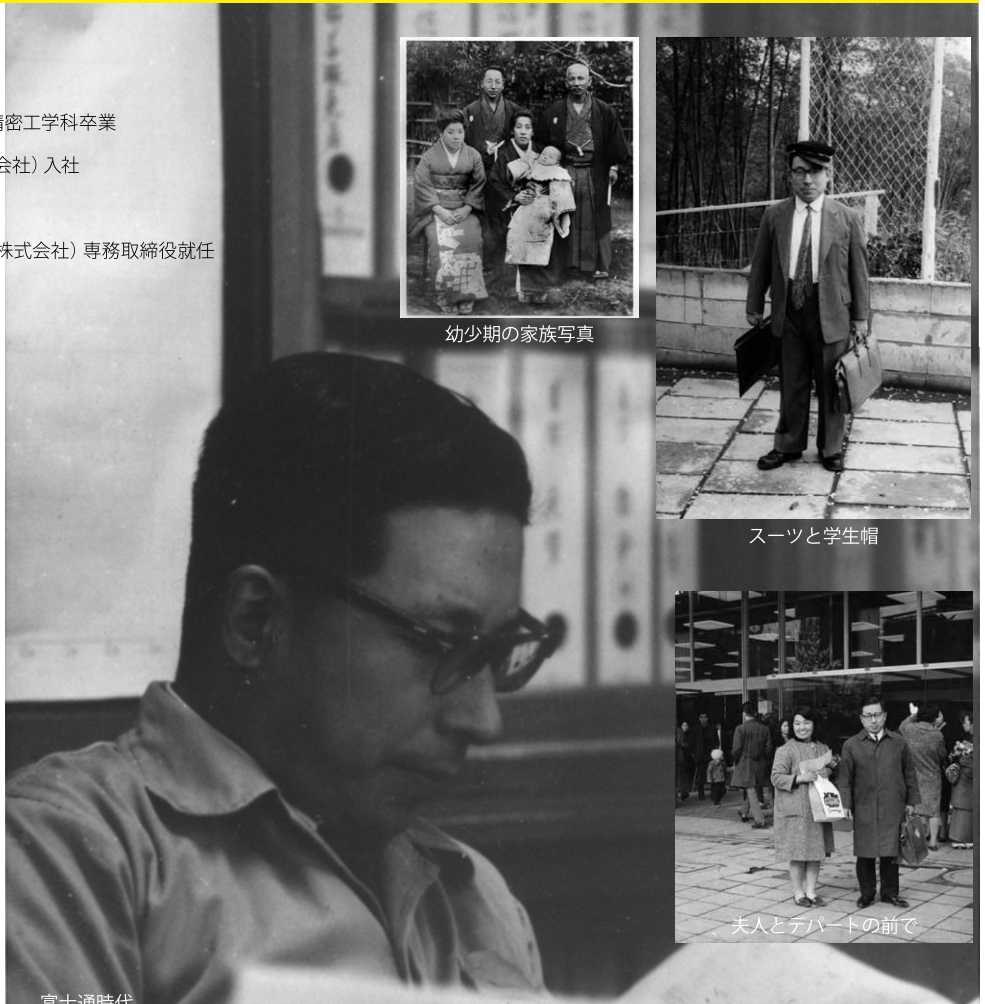
- 1946年 9月 東京帝国大学(現 東京大学) 第二工学部精密工学科卒業
- 1946年11月 富士通信機製造株式会社(現 富士通株式会社) 入社
- 1965年 7月 工学博士(東京工業大学)
- 1972年 5月 富士通ファナック株式会社(現 ファナック株式会社) 専務取締役就任
- 1975年 5月 代表取締役社長就任
- 1995年 6月 代表取締役会長就任
- 2000年 6月 相談役名誉会長就任
- 2005年 6月 名誉会長就任

受章

- 1981年 紫綬褒章
- 1985年 ルクセンブルク クロン・ド・シェーナ勲章
- 1989年 ルクセンブルク 勲二等メリット章
- 1990年 藍綬褒章
- 1995年 勲二等瑞宝章



愛車のスバルと



幼少期の家族写真



スーツと学生帽



夫人とデパートの前で

富士通時代



仲間と



学生時代

社葬

2020年12月8日、本社自然館にて、社内でのお別れの会が開催されました。
参列した社員それぞれが名誉会長の言葉や思い出を胸に、静かにその面影を偲びました。



ファナックの原点 MIT レポートと
電気油圧パルスモータ



所縁の品々



実機の展示

ファナックの創業と歩み

1956



初期のNC開発に携わった技術者

1964



ファナック最初のCNC、FANUC250を開発

1978



貨泉機工社と共同出資により
KOREA NUMERIC CORPORATION を設立

1976

FANUC SERVICE GmbH (西ドイツ) を設立

1977

FANUC USA CORPORATION を設立



1977

FANUC ROBOT MODEL 1 を開発

1978

1977

FANUC ROBOT MODEL 1 を開発

1976

1975

1974

1972

1968

1965

1964

1959

1956

1972



5月12日 富士通ファナック株式会社 設立

1972



FANUC DRILL (NCドリル) を開発

1974



GETTYS 社と提携、
DC サーボモータを開発

1975



FANUC TAPE CUT-SERIES A
(ワイヤカット放電加工機) を開発

1975



5月31日 社長就任

1965

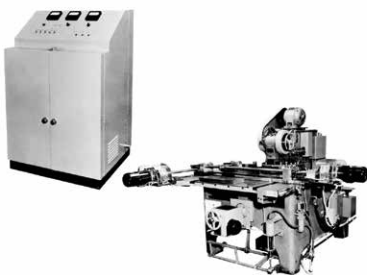
西独シーメンス社にパルスモータの製造
及び販売のライセンスを供与

1968

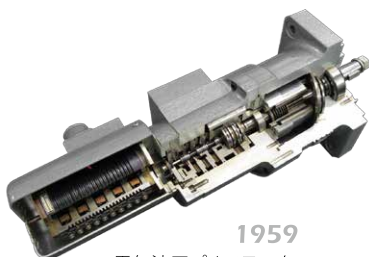


群管理システムの開発

NCターレットパンチプレス



1959
電気油圧パルスモータ





1982

GM との共同出資により、米国に GMFanuc Robotics Corporation を設立



1984

10月1日 富士山麓に本社を移転



2000

FANUC ROBO nano Ui を開発

1982

ファナック株式会社に社名を変更

1982



1984

FANUC AUTOSHOT を開発

1984

1986

1987



1987

FANUC NC LASER-MODEL C1000 を開発

1992

1992



FANUC INDIA PRIVATE LIMITED を設立

1997



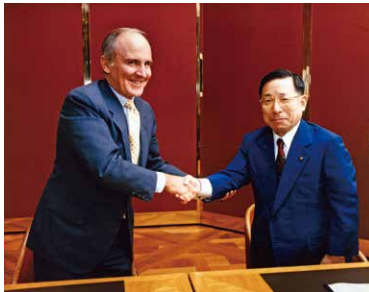
12月11日 上海電気集団との共同出資により中国に上海ファナックロボティクス有限公司を設立

1986



12月9日 台湾ファナック股份有限公司を設立

1986



12月29日 GE との共同出資により米国に GE Fanuc Automation Corporation を設立

1992



12月26日 中国機械電子工業部北京機床研究所との共同出資により中国に北京ファナック機電有限公司を設立



2002

著書 黄色いロボット

人となり

研究開発に対する基本姿勢



技術者は過去にとらわれていては大きな飛躍を望めません。
(ファナックニュース No.2-1972 より)

技術には歴史がある
しかし
技術者には過去はない
ただ創造あるのみ



1972年5月12日
創立総会 富士通役員会議室にて



1985年11月19日 取締役会終了後に



1992年6月26日 株主総会終了後に

狭い路

技術者は狭い路を真っ直ぐ歩め
技術者は、広い領域に浅く広く首を突っ込むのではなく、長く伸びる
技術の“狭い路を”真っ直ぐに歩いていくことが大切。
(黄色いロボットより)

厳密と透明

ファナックの仕事に対する姿勢は、厳密と透明です。これを実行する
ことにより、ファナックの強い体質を今後も維持することが出来る
のです。(ファナックニュース No.151-2004 より)



1983年11月
シンシナティミラクロン社ガイヤー会長と



1997年7月16日
アストン大学学位授与



1992年9月29日
米国技術アカデミー



1985年4月 八丈島にて



1998年 創立25周年記念遊歩道完成



2005年1月17日
名古屋セールスサービス支社視察



Zdravetz (ズドラヴェッツ)



隼人の小学校にある大木を観照

■ ファナックの商品開発の基本姿勢とそれを実行するために必要な三原則

ファナックの商品開発の基本姿勢とそれを実行するために必要な三原則

この三原則を守ることでファナック商品（＝抜群の競争力と高度の利益を生み出す製品）を生み出すことができる。（ロボット時代を拓くより）

WENIGER TEILE
RELIABILITY UP
COST CUT

Weniger Teile

“より少ない部品”ですむように設計すること
私がつくったドイツ語ですから、ドイツ人にも説明が必要です。
これは“より少ない部品で”設計開発を、という
FANUC 技術者の合言葉なのです。
(FANUC ニュース No.24-1976 より)

Reliability Up

商品の信頼性を高めること

Cost Cut

どの商品より低コストであること



1987年2月18日 GM ロジャースミス会長と



1987年9月21日 GE ウェルチ会長ご来社



1999年7月11日 曾憲林先生、張志英先生 敦煌



1998年5月11日 ワーラー博士夫妻と



1995年 小林副会長、野澤社長と



1982年5月30日 八丈島クラブにて



2004年1月18日 ファナックインドア訪問



2005年8月10日 韓国出張



2010年11月26日
広告「老人、ゲンコツでハンドティーチ」



2010年 IMTS



2010年 上海万博



2009年 自宅ガーデンにて



FANUCニュース 特別号

ファナック株式会社

〒401-0597 山梨県南都留郡忍野村 www.fanuc.co.jp

電話 0555-84-5555(代表) FAX 0555-84-5512(代表)

発行責任者 常務執行役員 松原 俊介(研究開発推進・支援本部長)

本書の無断転載・複製を禁ず

©FANUC CORPORATION May. 2021 Printed in Japan